

# みんなの人権

みなさんも一緒に考えませんか

いじめの凶器

町内中学生



私は小学生のころ、もしかするといじめをつけていたのかもしれない。自分は物を隠された程度でしたが、私が四年生のころに無視するなどのいじめをつけていた子がいました。最初はクラスのリーダー的存在が小突く程度でしたが、段々エスカレートしていきました。そんないじめられていた彼を見て、自分が何も出来ない非力さを知りました。いじめという凶器に怯えていました。

自分は結局そのまま一年間を過ごしました。それから学校も別れ、別のクラスになってからは、目立つことが怖くなってきました。しかしそんな私を見かねてか、先生が話しかけてくれました。そこで、いままでの思いを話すとなんだか心が軽くなり、怯えて暮らす日々も終わりました。相談することっていいと思いました。

つまり私がみなさんに伝えたいのは、いじめをつけている人は絶対に相談したほうがいいということ。この文をみてもありきたりだと思つかもしれないけれど、相談するだけで全然違いますよ。だからぜひ相談を。

※原文を一部修正しています。

問い合わせ先 役場人権推進室(総務課内) ☎963-1730(直)

## 永年の貢献に感謝状

12月31日付けで町の人権擁護委員を退任した三原義賢さん(下府1)に、町長から感謝状が贈呈されました。三原さんは、平成13年9月から18年4か月という長い間、町民の人権意識の高揚と人権問題解決に尽力し、町の人権啓発に多大な貢献をされました。



▲感謝状を贈られた三原さん